

# 金山町立金山中学校 第4号

## 学校だより

令和4年7月1日発行  
発行責任者:金山中学校長

### 第70回全会津中学校体育大会総合大会に出場してきました!

6月9日(木)・14日(火)・15日(水)の3日間にわたり、第70回全会津中学校体育大会総合大会が開催されました。

男子バレーボール部は、競技を始めて間もない1年生も2・3年生と一緒にあって試合に臨みました。当然ミスもありましたが、先輩が声を掛けフォローすることで、試合を重ねるごとにチーム力が高まり選手個々が徐々に自信をもってプレーし、初勝利を勝ち取ることができました。

女子バレーボール部は、会津柳津学園中学校と合同チームを組んでの出場であり、また金山中女子バレーボール部の歴史に幕を下ろす大会でもありました。ベスト8を決めた試合は、3セット目までもつれる接戦の末の勝利であり、選手が互いに嬉し涙を流す姿がとても印象的でした。

女子バドミントン部は、初めての大会参加であり、試合や大会運営など全てが初めての経験でした。そのような状況でも、生徒は周囲の状況を適切に判断し、引率教員に指示されなくとも自分自身で考え、落ち着いて行動できていました。とても頼もしく、一人一人の成長を実感しました。

3年生にとっては、今大会をもって常設部の活動にピリオドを打ちます。入学以来、放課後や休日の時間を使い、熱心に練習に励んできました。新型コロナウイルス感染症の影響があり、様々な制限がある中での活動となりましたが、部員一同切磋琢磨しながら高め合ってきたチーム力及び個々人の技能の成果を十分に発揮することができました。これまで賜りました、保護者の皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。



## キャリア教育講演会 ～只見線を生かした地域づくり～

本校では、地域の方々との触れ合いや講話を通して、故郷の良さや課題を知り、自分や地域の将来を考える機会として、毎年キャリア教育講演会を実施しています。今年度は、6月16日（木）に、長谷川秀利様（町役場 企画課企画係長）をお招きし、「只見線を生かした地域づくり～只見線と共に生きる金山町・未来のために～」をテーマにご講演いただきました。

講演では、地域に根差した只見線の歴史、豪雨災害から全線再開通へ向けた町の取り組み、只見線が担う今後の地域づくりとしての大切な役割などをお話しいただきました。平成23年7月の豪雨災害については、被害の大きさを物語る当時の画像に生徒は驚きを隠せない様子でした。災害から11年が経過し、今年10月に地域の想いを込めて全線再開通となる只見線に、自分たちはどう関わるべきなのかを考えさせられたようです。また、町役場の仕事の魅力、責任の大きさを知るとともに、故郷の魅力を再発見することができ、自分を育ててくれている地域のために将来自分は何ができるのか、何をすべきなのかを生徒一人一人が改めて考える機会となりました。



## 道徳科で目指す学習は、日本の未来を見据えた教育の中心

現行学習指導要領では、生きる力を基盤に、対話的な学びを大切に、一人一人が幸せ感（Well-Being）を求めるといった目標があります。生きる力の育成は、しっかりとした学びや豊かな心を養う道徳教育の充実、健康安全を大切にする健やかな体づくりです。そして、対話的な学びは、自分の考えを仲間関係の中で磨いてよりよい考えにしていくことです。このことは、子どもの資質・能力として、主体的・対話的で深い学びとして、道徳科や教科等で新しく学んでいくものです。そして、心身を自ら鍛え、生涯充実して生きていくことは幸せ感を求めるためであり、生涯100歳の人生設計のためです。

とくに、新しい道徳科の学習では、「なぜ、このように考えるのか」と教材の主人公について自分のこととして真剣に考え、仲間と議論しながら「なるほど異なる意見も大切だ」と多面的・多角的に自分の考えを広げ、「自分ならこう実行したい」と実生活の問題を発見し粘り強く自ら解決することが大切です。さらには多様な体験を生かしながら学びを深める授業もあります。道徳科では、新しい教育が目指していることに先行していると言えます。

一方、Society（ソサイアティ＝社会）という英語が注目されています。福沢諭吉は明治初期に人間交際と訳し、社会と人との関係性の大切さを語っています。人間は、狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）と切り拓いて来ましたが、わが国が目指すべき未来社会の姿として、Society 5.0（超スマート社会）という第5期科学技術基本計画が提唱されています。経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心社会の実現です。今後本校においても、人間尊重の精神を基盤に、道徳科が推奨する「考え、議論する道徳」を大切に、未来社会の創造を見据えた学習を積極的に展開してまいります。